



洗面器(手洗器)

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、洗面器(手洗器)をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- 必ず実行 必ず実行していただく「強制」を示します。

- 禁止 してはいけない「禁止」を示します。

- 注意 気をつけていただきたい「注意」を示します。

施工上のご注意

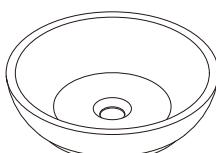
必ず実行	<ul style="list-style-type: none">● 器は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。● 指定位置には必ずシリコーンコーティング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。● 排水金具の締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
禁止	<ul style="list-style-type: none">● 器に日光や照明が直接当たる場所には設置しないでください。● ストーブやヒーター等熱を発生するものの近くに設置したり、ドライヤー等の熱風や、火のついたタバコが製品に当たらないようにしてください。
注意	<ul style="list-style-type: none">● 施工前に、輸送中の破損がないかご確認ください。● 施工される際、器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えるとしないでください。破損および故障の恐れがあります。● 本品と組合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓(流量調整ができる器具)を取付けた配管に設置してください。● 施工後の確認を必ず行ってください。● 施工完了後、お客様が使用されるまでの間、器の表面にキズや汚れがつかないよう、養生シート等で保護してください。

使用上のご注意

禁止	<ul style="list-style-type: none">● 器に60°C以上の熱湯や油、シンナー等の溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。● 器に大きな荷重(人がのる、ものをのせる等)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたく等)を与えるとしないでください。破損および故障の恐れがあります。● 器にひびが入ったり、割れたりした場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。● 器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。● ストーブやヒーター等熱を発生するものの近くに設置したり、ドライヤー等の熱風や、火のついたタバコが製品に当たらないようにしてください。● ヘアカラー、ヘアマニキュア、養毛剤等の薬液がかかった場合はすぐに洗い流してください。放置すると変色する恐れがあります。
注意	<ul style="list-style-type: none">● 汚れや水滴を長く放置すると表面に汚れが固着することがあります。本品は樹脂製ですので、ふだんは乾いたやわらかい布(タオル等)を使って、こまめに水気を拭き取ってください。汚れがひどい時は、研磨剤を含まない中性洗剤を使用し、うすめた洗剤を含ませた布で軽く拭いた後、水拭きし、最後に乾いた布で水気を拭き取ってください。原液は使用しないでください。● お手入れの際、クレンザー等の目の粗い洗剤やたわし、または酸性・アルカリ性・塩素系洗剤・ベンジン・油等は使用しないでください。表面を傷める恐れがあります。● 金属類(ヘアピン、カミソリの刃等)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。● スチームクリーナーは、器が破損する原因となりますので、使用しないでください。

製品同梱明細

施工される際は、下記の部材があることをご確認ください。

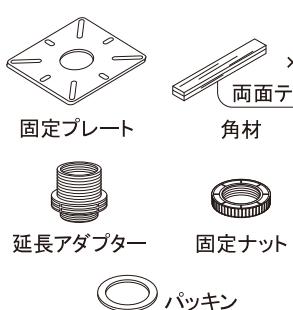


洗面器(手洗器)



取扱施工
説明書

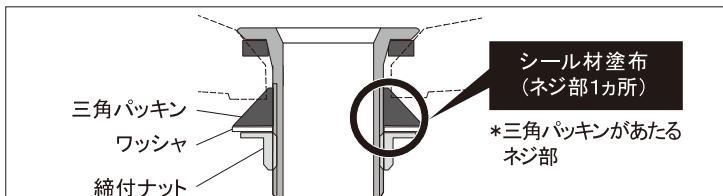
器固定金具



取付方法

1. 排水金具(別売)を取付けます。

* 詳細は器具の説明書をご参照ください。

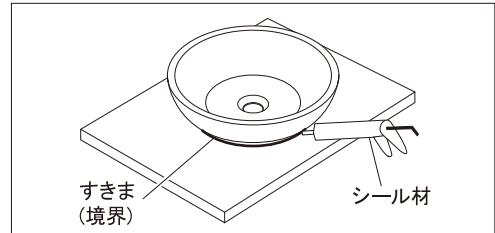
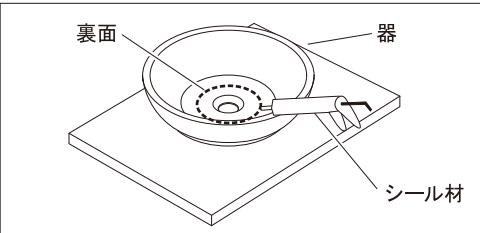
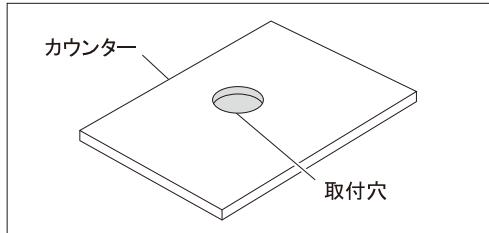


- 必ず実行 ● 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置にシリコーンコーティング等のシール材を塗布してください。
- 締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

裏面へ続く ➔

取付方法(つづき)

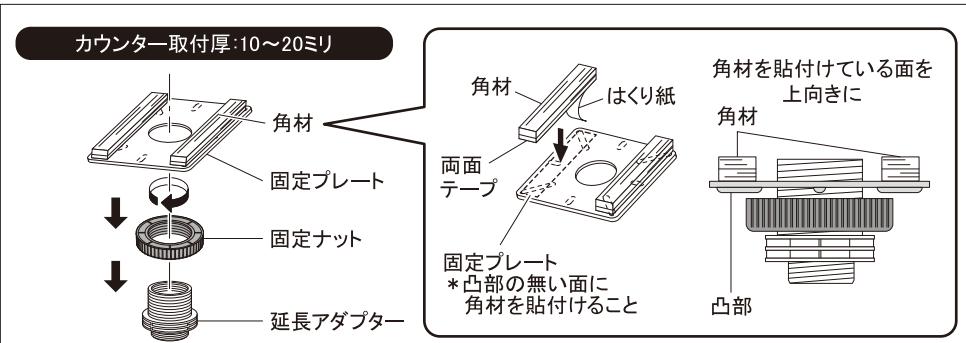
2. 器を取付けます。



- ①器を取付けるカウンターに指定の取付穴を開けます。 ②器の裏側(カウンターに接する面)にシール材を塗布し、カウンターに設置します。
* 取付穴は器の仕様図面をご参照ください。

カウンターの取付厚を確認し、器固定金具を組立てます。

* カウンターの取付厚により、器固定金具の組立方法が異なりますのでご注意ください。

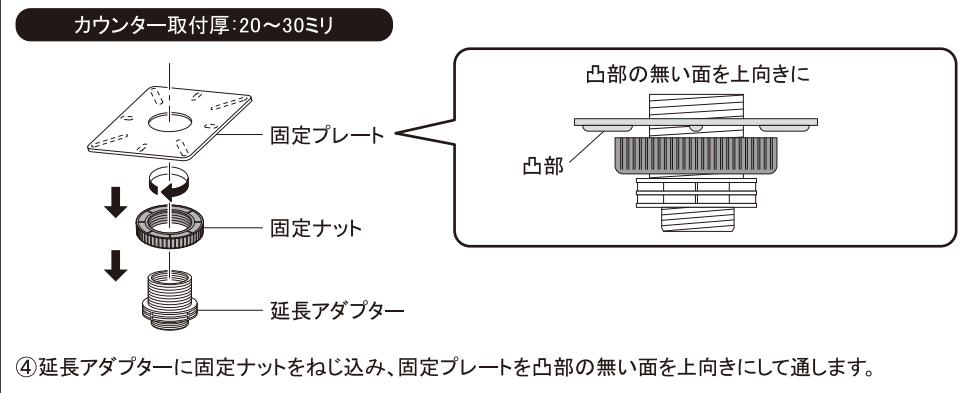


- ④付属の角材を両面テープで固定プレートの両端に貼付けます。

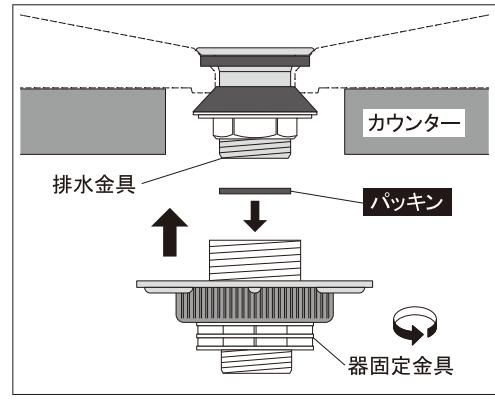
* 角材は固定プレートの凸部の無い面に貼付けてください。

* カウンターの取付厚が少ない場合は、別途厚みのある角材などを用意ください。

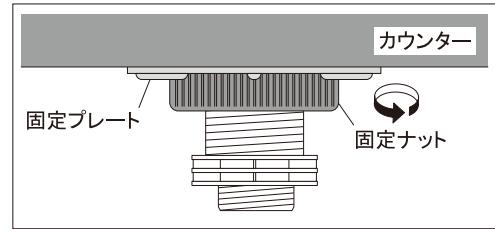
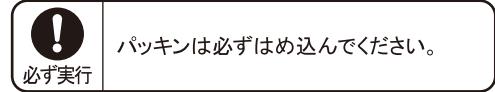
- ⑤延長アダプターに固定ナットをねじ込み、固定プレートを角材を貼付けている面を上向きにして通します。



- ④延長アダプターに固定ナットをねじ込み、固定プレートを凸部の無い面を上向きにして通します。



- ⑥④⑤で組立てた器固定金具にパッキンをはめ込み、器固定金具を排水金具に取付けます。



- ⑦固定ナットを手締めで締付けて、器をしっかりと固定します。



3. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取り付けます。

* 詳細は器具の説明書をご参照ください。



施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態等でその場を離れないでください。漏水を起こし、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施工後の確認

* 施工後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず下記確認を行ってください。

- ①器の取付状態の確認

ガタつきがないか確認をします。

- ②水栓の吐水量の確認、および調整

水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。

* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。

* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。

- ③水もれ、排水の確認

通水・排水経路の接続各部に水もれがないか、排水がスムーズに行われるか確認をします。

* 詳細は、各器具の説明書をご参照ください。



メンテナンス等で、止水栓を閉じ、再び開く場合等には、水栓の吐水量の確認、および調整を必ず行ってください。(施工後の確認 ②)